

目標達成計画

作成日: 2022年 4月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	○災害対策 想定外の自然災害に備え、事業所に即した具体的な想定での避難訓練の実施と、職員が災害時に慌てずに対処できるよう災害避難訓練の回数増が望まれる。	事業所の災害対策委員会を中心に計画を行い、夜間設定も組み込みながら今まで以上に訓練を実施して行く。また新人スタッフが入った際は必ず訓練に参加出来るよう配慮する。	具体的な避難時の対応法など今回の外部評価でのアドバイスを元に手順を詳しく取り決めていく。検討事項はマニュアルに追加、変更していく。	3ヶ月
2	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画は本人の望む暮らし方の基本であるため、更に本人・家族等の意向を掴み、プランにつなげる工夫が望まれる。また計画作成担当者が担っている業務を分担するなど、職員が前向きに能動的に関わる取組に期待したい。	ご家族の意向を掘り下げ、家族と共に本人の希望を確認しながら、計画表を作成していく。また業務分担についても担当制を取り入れながら多方面からの視点で介護の質の向上も目指していく。	コロナ禍で面会が出来ない事が続いている分ご家族と文書や電話でのやり取りを増やし、ご意向を確認していく。 嘱託職員に介護計画の担当制を取り入れながら、一緒にケアプランの作成を実施していく。	6ヶ月
3	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 入居者の尊厳を守るためにも、パットやオムツ等の保管場所の検討、取組に期待したい。	見た目にもトイレでの排泄が快適であり、入居者一人一人の尊厳を大切にしようパットなどの置き方を心掛ける。またリスクマネジメントも考慮し安全面も考えながら設置していく。	A棟のトイレを参考に棚を設置したりし、他の入居者や来客にも目につかない様な配置を考え対応する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月